

内灘町観光アクションプラン



内灘海岸に沈む夕日

目次

1 内灘町観光アクションプランの概要.....	1
(1)策定の目的.....	1
(2)観光アクションプランの位置付け.....	1
(3)目標年次.....	1
2 内灘町観光の現状と課題.....	4
2-1 観光入込など状況.....	4
(1)施設入込客数.....	4
(2)イベント参加者数.....	4
(3)海水浴場入場者数.....	5
(4)宿泊者数.....	5
2-2 内灘町観光の課題.....	6
(1)観光産業の課題(第五次内灘町総合計画より).....	6
(2)「内灘町観光ビジョン」進捗状況からの課題.....	6
(3)観光関連統計からの課題.....	6
(4)コロナ禍からの課題.....	7
3 内灘町観光アクションプラン.....	8
3-1 観光テーマ.....	8
(1)メインテーマ.....	8
(2)サブテーマ.....	9
3-2 重点プロジェクト.....	10
(1)クリップスポットの拡大.....	10
(2)モビリティの充実.....	10
(3)内灘ファンクラブの発足.....	11
(4)ウェルネス・ツーリズムの推進.....	11
(5)レスポンスブル・ツーリズムの定着.....	12
3-3 アクションプラン.....	14
資料.....	15
(1)「内灘町観光ビジョン」進捗状況.....	15
(2)内灘町観光アクションプラン策定委員名簿.....	18
(3)委員会での発言キーワード.....	18

1 内灘町観光アクションプランの概要

(1) 策定の目的

2020年(令和2年)、2021年(令和3年)と新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延に伴い、国内の多くの観光業は非常に厳しい状況に置かれています。こうした状況の下、観光需要の回復には一定の期間が必要とされているほか、人々の観光スタイル等も大きく変化し、観光業にも早急の対応が求められています。

このアクションプランは、WITHコロナ、AFTERコロナの視点で、今後10年間の新たな観光ニーズに対応し、国内外の多くの人々が本町に魅力を感じ、訪れることによる交流人口の増加と観光消費で地域経済が活性化することを目的とし、内灘町と観光関連の民間事業者が連携して実施する観光重点プロジェクトについて定めたものです。

(2) 観光アクションプランの位置付け

2016年度(平成28年度)に策定された「内灘町観光ビジョン」を上位計画とし、その後脅威をふらしたコロナ禍への対策と新たな観光ニーズへの対応を補強し、策定したものです。

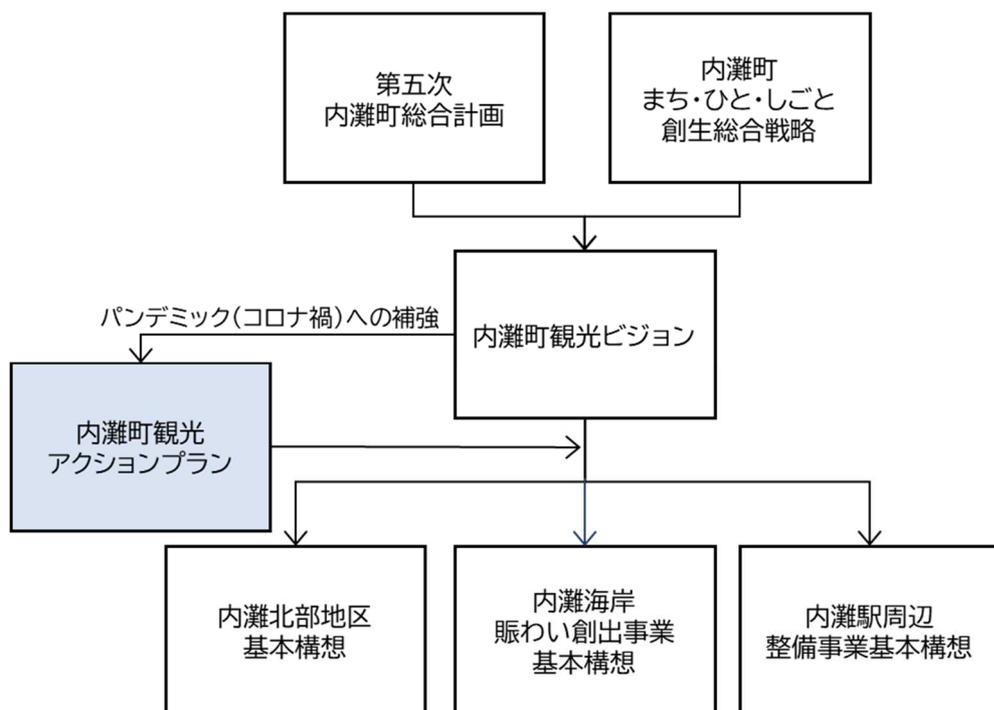


図 1 観光アクションプランの位置付け

(3) 目標年次

2031年度(令和13年度)を目標に設定します。

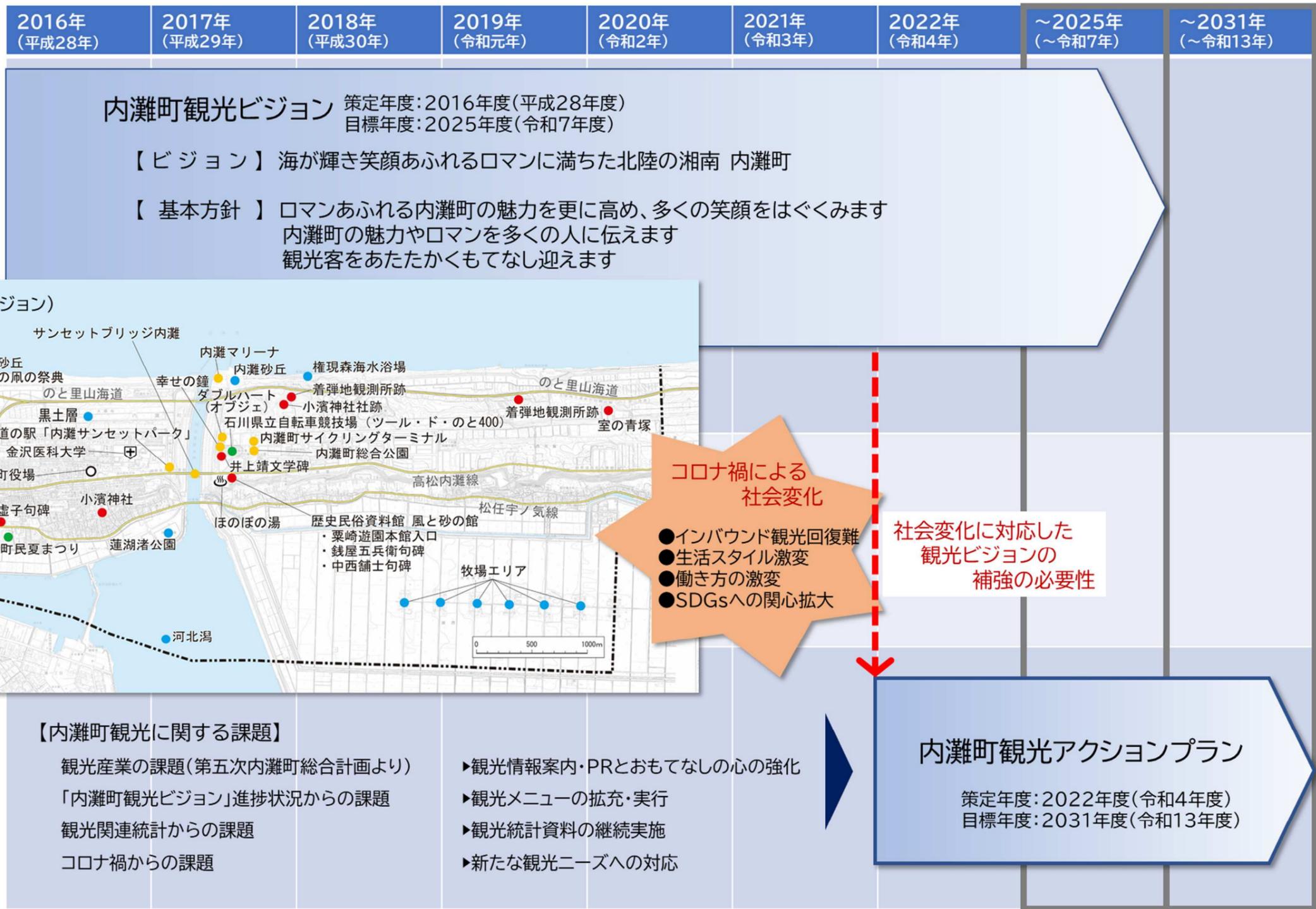


図 2 内灘町観光アクションプラン策定の背景



サンセットブリッジ内灘 夕陽



恋人の聖地 ダブルハート



内灘砂丘 風紋



SUP 体験



北陸鉄道浅野川線(通称:浅電)



内灘マリーナ



道の駅 内灘サンセットパーク



河北潟干拓地 桜並木



総合公園



河北潟干拓地 酪農団地

図 3 内灘町の観光スポット

2 内灘町観光の現状と課題

2-1 観光入込など状況

(1)施設入込客数

表 1 施設入込客数の推移

(人)

	歴史民俗資料館風と砂の館		道の駅 内灘サンセットパーク		金沢地域	
		変化指数		変化指数		変化指数
2010年	1,168	100	251,000	100	8,152,000	100
2011年	1,352	116	222,000	88	7,618,000	93
2012年	2,376	203	211,000	84	7,942,000	97
2013年	2,044	175	191,000	76	8,239,000	101
2014年	1,553	133	173,500	69	8,442,000	104
2015年	2,068	177	200,000	80	10,064,000	123
2016年	2,050	176	76,125	30	10,335,000	127
2017年	2,070	177	68,057	27	10,221,000	125
2018年	2,029	174	62,670	25	10,445,000	128
2019年	2,143	183	57,308	23	10,676,000	131

資料：統計からみた石川県の観光、内灘町調

(2)イベント参加者数

表 2 イベント参加者数の推移

(人)

	内灘町		金沢市	
		変化指数		変化指数
2010年	55,000	100	1,090,755	100
2011年	16,000	29	1,057,622	97
2012年	39,000	71	981,538	90
2013年	52,000	95	1,087,270	100
2014年	54,000	98	1,110,890	102
2015年	53,000	96	1,193,673	109
2016年	66,000	120	1,223,517	112
2017年	62,000	113	1,137,873	104
2018年	21,800	40	1,168,589	107
2019年	41,000	75	1,163,896	107

資料：統計からみた石川県の観光

内灘町：世界の風の祭典(平成23年中止)、内灘町民夏まつり

金沢市：フードピア金沢、夜の金沢城・兼六園ライトアップ、百万石菓子百工展、金沢百万石まつり、港フェスタいしかわ in 金沢、金沢 JAZZ STREET

(3)海水浴場入場者数

表 3 海水浴入場者数の推移

(人)

	内灘海岸		千里浜海岸		今浜海岸	
		変化指数		変化指数		変化指数
2010年	55,000	100	14,000	100	47,000	100
2011年	59,000	107	13,000	93	40,000	85
2012年	65,000	118	13,000	93	39,000	83
2013年	138,000	251	12,000	86	58,000	123
2014年	45,000	82	10,000	71	44,000	94
2015年	100,000	182	13,000	93	74,000	157
2016年	—	—	13,000	93	53,000	113
2017年	24,000	44	9,000	64	39,000	83
2018年	23,000	42	13,000	93	35,000	74
2019年	19,000	35	13,000	93	30,000	64

資料:統計からみた石川県の観光

2010年は、内灘海岸、権現森海岸、西荒屋海岸合計

2017年より町営内灘海水浴場開設

(4)宿泊者数

表 4 宿泊者数数の推移

	内灘町 (人)		金沢地域 (千人)		加賀地域 (千人)		白山地域 (千人)		能登地域 (千人)	
		変化指数		変化指数		変化指数		変化指数		変化指数
2016年	17,800	100	3,476	100	2,710	100	120	100	1,799	100
2017年	21,100	119	3,460	100	2,716	100	116	97	1,724	96
2018年	21,200	119	3,720	107	2,700	100	110	92	1,714	95
2019年	20,300	114	3,854	111	2,607	96	107	89	1,608	89

内灘町宿泊施設:サイクリングターミナル、ファミリーロッジ旅籠屋金沢内灘店、

ホテルリブマックス BUDGET 金沢医大前、民泊

資料:統計からみた石川県の観光、内灘町調

2-2 内灘町観光の課題

(1)観光産業の課題(第五次内灘町総合計画より)

観光情報案内・PRとおもてなしの心の強化

内灘町には、多様なマリンスポーツの拠点となっている内灘海岸・砂丘のほか、粟崎遊園や内灘闘争等の本町の歴史・民俗を知ることができる歴史民俗資料館「風と砂の館」、世界の凧が一堂に会す「世界の凧の祭典」など、個性豊かな観光資源があります。

特に「内灘砂丘・日本海」は、町民アンケートでも“町の自慢”として最も多く挙げられており、町を代表する地域資源となっています。

また、平成 21 年4月には、内灘海岸とサンセットブリッジ内灘周辺一帯が、『LOVE&BEACH/サンセットブリッジ内灘』として恋人の聖地に選ばれ、人気のドライブスポットとなっています。

今後は、内灘海岸や内灘砂丘をはじめとした観光資源を十分に活用できるよう、観光情報の案内・PR強化に努めるとともに、各種団体と連携を図り、町を訪れる方々に満足いただけるよう「おもてなしの心」を大切に活動を進めていく必要があります。

(2)「内灘町観光ビジョン」進捗状況からの課題

観光メニューの拡充・実行

5つの観光拠点のうち、海岸拠点と駅前拠点については、基本構想や計画が策定されていますがその他の眺望・観光農園・体験農園拠点については、方向性や取り組みをもう少し具体的に考える必要があります。

また、コロナ禍の影響もありますが、新たなイベント企画やマリンスポーツを活かしたスポーツツーリズム、海外からの誘客を強化する観光メニューも未着手の状況となっており、早急に検討を進める必要があります。

(3)観光関連統計からの課題

観光統計資料の継続実施

観光地としての印象が薄い本町にとって内灘海岸でのアクティビティ、内灘大橋の景観はメインの観光資源ですが、近年利用者数の減少が著しく、既存のこうした観光拠点のグレードアップと新規観光メニューの造成が必要です。

特に健康志向の潮流にあって、内灘町の観光資源を十分に生かし切れていないことが課題です。

また、観光施策を積極的に展開していく上で適格なニーズ把握のため、各種施設、イベントなどの入込客数の定期調査を継続実施する必要があります。

(4)コロナ禍からの課題

新たな観光ニーズへの対応

コロナ禍がもたらしたニーズの変化を的確に捉え、感染が収束もしくは共存した「コロナ禍後」の新しい旅行スタイルに対応していく必要があります。

密を避け、安心して楽しめる町内観光を実現するには、観光素材のさらなる掘り起こしを行い、スロートーリズムなど本町の環境を活かした地域ならではの景観や食など多様な楽しみ方を工夫して提供することが課題となります。

また、国でも首都圏などの密集を離れて、地方での観光を体験できる新たな旅と働き方のスタイルである旅先で休暇を楽しみながらテレワークをする「ワーケーション」を推奨しており、テレワーカーの満足度を高める環境を本町で提供していくことが課題となります。

さらにアフター・ウィズコロナやワーケーションなどを推進するため、デジタル技術を単に作業の省力化の為でなく、技術と観光資源または複数技術の掛け合わせによって相乗効果を生み出し、これまでにない観光コンテンツ及びエリアマネジメントを実現していく必要があります。

3 内灘町観光アクションプラン

3-1 観光テーマ

(1)メインテーマ

海と風にあそぶ uchi-nada

海沿いの爽やかな、若々しい雰囲気表現し、観光で他所から町を訪れる人だけではなく、そこに暮らす人々も毎日を楽しめるおしゃれな町、そんなイメージの定着を目指します。

観光客であふれかえる金沢駅の地下から、バック一つで身軽に浅電に飛び乗り 17 分で内灘駅に。閑静な住宅街を抜けると、眼前には広大な砂丘と荒々しい波の打ち寄せる日本海。

自転車で一回りできてしまうコンパクトな町に、緑まぶしい酪農エリア、ロマンチックに海に沈む夕陽を眺める高台、白山や立山を背景に湖面きらめく河北潟がぎゅっと詰まった内灘町。マリンスポーツを楽しむ。大切な人と一緒に砂浜を裸足で歩き、貝殻を拾う。心と体がリフレッシュする場所。

「海風に吹かれて心も身体も綺麗になる」

「何もないようで何かある。大切なものが見つかる」

「疲れが浄化し元気が充填される、砂丘の上のパワースポット」

何度でも訪れたい内灘町を目指します。



サンセットブリッジ内灘 夕陽

(2)サブテーマ

クリップスポットの拡大	<p>「クリップした宿・観光・体験」とは、いつか泊まってみたい・行ってみたい気になる宿・観光スポットなど、場所やイベント等を記録し、リスト化したくなるような拠点づくりを意味しています。</p> <p>内灘町に訪れてみたい、リピートしたいと思わせるスポットづくりを広めていきます。</p>
モビリティの充実	<p>モビリティ(mobility)とは、動きやすさ、可動性を表し、場所や階層の移動の他、交通をつかった人の移動手段という意味でも用いられます。</p> <p>内灘町での移動環境の充実のほか、新たな観光スタイルへの意識の転換、定着を目指します。</p>
内灘ファンクラブの発足	<p>観光地へのファンとは、その地域への強い「愛着」を持っている人と言い換えることができます。ここでいう愛着とは、「特定の観光地と旅行者の間に形成された心理的な絆」のことを意味しています。</p> <p>内灘町の魅力を造成、積極的に発信し、内灘 LOVE の人々を増やしてきます。</p>
ウェルネス・ツーリズムの推進	<p>ウェルネス・ツーリズム(Wellness Tourism)とは、心身のリフレッシュや健康の増幅を図ることを目的としている旅行形態です。</p> <p>ウェルネス・ツーリズムはアフターコロナにおいて国内旅行の新しいニーズを喚起する可能性があります。</p> <p>海、総合公園、サイクリングターミナルを抱える内灘町において、ウェルネス・ツーリズム環境づくりを広げていきます。</p>
レスポンスブル・ツーリズムの定着	<p>レスポンスブル・ツーリズム(Responsible tourism・責任ある観光)とは、観光客もツーリズムを構成する要素であると捉え、観光客が意識や行動に責任を持つことで、より良い観光地形成を行っていかうという考え方であり、自分の行動が地域や環境へ負荷を与えてしまうかも知れないことを認識し、自律した行動を実践していく、SDGsとも関連する、これからの観光のカタチです。</p> <p>酪農団地や体験農業で持続可能な農業・環境を学んだり、内灘闘争といった稀有な歴史を有する内灘を舞台にした教育旅行の実施で、「学べるツーリズム」が実践できる町を目指します。</p>

3-2 重点プロジェクト

(1)クリップスポットの拡大

道の駅の活性化/土産物開発

サンセットブリッジ内灘に隣接した道の駅では、内灘町のブランドのテーマに調和したイメージにリニューアルし、地元産品を活用した土産物の開発及び販売、地域の人も旅人も気軽に休憩できるカフェなどを併設させます。



グランピング事業者の誘致

海や蓮湖渚公園、総合公園周辺の眺望の良い場所にグランピング事業者を誘致し、総合公園・サイクリングターミナルの活性化にも繋がります。

インスタ映えするポイントの集約・発信

かわいい、美しい、驚きなど町内にインスタ映えするポイントを集約し、または新たなポイントを発掘し、町内外へ情報として発信します。



(2)モビリティの充実

ウォーキング・スマホガイド構築

内灘町をウォーキングやサイクリングなどで回遊してもらうための観光モデルコースを設定し、スマホ片手に行動できるよう、アプリ等で情報を提供します。

観光タクシーコース・プランの設定

内灘町のインスタ映えするスポットを回る観光コースを設定し、タクシー運転手がガイドし、一定料金で周遊するプランを設定します。

モビリティサービスアプリ構築

浅電、コミュニティバス、電動サイクル・キックボード・ビーチクルーザーなどルート・時刻確認、予約、決済一元化などを実現するスマホアプリを構築、提供し、町民や来訪者に便利なまちづくりを進めます。

レンタル・シェア電動サイクル・ビーチクルーザーの提供

坂道を快適に走行できる電動アシスト自転車や砂浜を快適に走行できるビーチクルーザーのレンタル環境を充実させ、環境にやさしく、ウォーカブルなまちづくりを進めます。



(3)内灘ファンクラブの発足

内灘プロデューサー育成、地域おこし協力隊との連携

内灘町の観光テーマ実現に向け、それに取り組もうとする個人、企業、組織の構成員の活動を通じた実践的なノウハウなどを蓄積していくとともに、組織間の連携を強化し、内灘プロデューサーとして育成していきます。

近隣自治体連携、商工会との連携

海岸沿いの近隣自治体や内灘町内関連団体との連携を促進し、協調イベントの開催やポスター制作、ホームページ・SNS での発信、土産物ネットワークなど様々な活動を連携して行い、広域での海ブランドを高めていきます。

プロモーションビデオ、ポスター・パンフレット、HP、LINE、SNS の作成

プロモーションビデオ、ポスター・パンフレット、HP、LINE、SNS を活用し、内灘町の魅力を広報する PR コンテンツを作成、発信します。

各種イベント企画

内灘町の既存のイベントの活性化を行うとともに、地元住民や企業などが主体となった新たなイベント企画を支援していきます。



(4)ウェルネス・ツーリズムの推進

カリキュラムの造成、スクール支援

内灘町の海、海岸をステージとした各種スポーツ、ヨガ・セラピーなどカリキュラムの造成を支援します。

サイクル・ジョギングコースの設定

内灘町の見どころを周遊する自転車コースやジョギングコースを設定、コース案内誘導舗装、まちかど休憩スポットを整備し、快適な走行環境づくりを進めます。



総合公園及びサイクリングターミナルの活用

内灘町におけるウェルネス・ツーリズムの中核をなす施設として総合公園、サイクリングターミナルの拡充整備、利用促進を図ります。

ツール・ド・のと400との連携

開催時には約900人(2018年)の参加者を数えるツール・ド・のと400と連携し、活性化を支援するとともに、内灘町内での休憩ポイントを確保します。

(5)レスポンスブル・ツーリズムの定着

SDGsに絡めた農業・酪農・歴史(内灘闘争)を学ぶ教育旅行の造成

既存の牧場を活かした酪農体験や農業体験を楽しみ、地域の人々との交流を図るグリーン・ツーリズムを展開するとともに、内灘闘争など砂浜に刻まれた歴史を学ぶ教育旅行の誘致を図ります。

フードロス BBQ イベントの開催

内灘町地元産の朝採れ新鮮野菜やミルク、地元産牛肉等を食材にした BBQ を提供することで、経済の地域循環と来訪者に地域住民や自然環境などへの配慮意識を醸成してもらいます。

ビーチクリーンイベントの開催

内灘海岸の美化環境を維持していくため、各種イベントと融合したビーチクリーン活動を進めていきます。



ビーチアクティビティ、ビーチフェス

サーフィン、バナナボート、SUPなどのビーチアクティビティ、音楽やダンスを楽しむことができるビーチフェスなど、海や海岸などの自然を楽しむ中で自然を守っていかうとする意識を育てるイベントの開催を推進します。



3-3 アクションプラン

		前期 ~2025 (~令和7年)	中期 ~2028 (~令和10年)	後期 ~2031 (~令和13年)
クリップスポットの拡大	道の駅の活性化/土産物開発			
	グランピング事業者の誘致			
	インスタ映えするポイントの集約・発信			
モビリティの充実	ウォーキング・スマホガイド構築、観光タクシーコース、プラン設定			
	モビリティサービスアプリ構築			
	レンタル・シェア電動サイクル・ビーチクルーザーの提供			
内灘ファンクラブの発足	内灘プロデューサー育成、近隣自治体連携、商工会、地域おこし協力隊との連携			
	PV、ポスター・パンフレット、HP、LINE グループ、SNS の作成			
	各種イベント企画			
ウェルネス・ツーリズムの推進	カリキュラムの造成、スクール支援、サイクル・ジョギングコースの設定			
	総合公園及びサイクリングターミナルの活用			
	ツール・ド・のと400との連携			
レスポンスブル・ツーリズムの定着	SDGs に絡めた農業・酪農・歴史(内灘闘争)を学ぶ教育旅行の造成			
	SDGs の実践クリーンビーチ、フードロス BBQ イベントの開催			
	ビーチアクティビティ、ビーチフェス			

※時期はプロジェクトの実行・運営の中心時期を示しています。

資料

(1)「内灘町観光ビジョン」進捗状況

基本方針	施策		実績	検証	
ロマンあふれる内灘町の魅力を更に高め、多くの笑顔をはぐくみます	観光拠点の整備	5 拠点を重点整備	海岸拠点	内灘海岸賑わい創出道路整備	石川県(海岸管理者)と協議中。
				駐車場整備	海岸保全区域のため、国や石川県(管理者)との協議が必要。
				物産店整備	
				海を活かしたイベントの継続・創出	世界の凧の祭典(平成元年～)
				海岸の美化	毎年5月下旬に内灘町海浜美化清掃(町民一斉美化清掃)を実施。通年ボランティア団体が清掃活動に取り組んでいる。 県の補助金を活用し、漂着物の清掃を実施している。
				風紋づくり	平成20年からクリーンビーチ内灘作戦が内灘砂丘復元を目的に竹垣づくりを行っていた。
				安全な海岸利用の促進	海水浴場開設シーズンにあわせ、関係機関が安全会議を開催。海岸入口にルール看板を設置し、安全な海岸利用を促進している。
		希少な動植物の保護の促進	毎年2回シロチドリ調査を実施している。		
		駅前拠点	内灘駅前広場整備	平成29年度より、内灘駅前に観光案内所を開設し、観光情報などの提供を行っている。	
		眺望拠点	「恋人の聖地」事業の展開	観光協会が恋人の聖地婚活パーティ等を実施している。	
			ホテル・宿泊施設誘致	企業誘致と合わせて行っている。	
			周辺施設の活用	道の駅は年間5万人前後の来客。サイクリングターミナル年間利用者26,000～30,000人(宿泊+日帰り)。歴史民俗資料館2,000人。総合公園については、パンフレットへの掲載やメディアを活用し、利用促進をはかっている。	
		観光農園拠点	牧場を活かした観光の推進	バターづくり体験や動物えさやり体験をPR。観光事業者へのプロモーション会議などでPRしている。	
			牧場を活かしたイベントの実施		
	案内表示の充実		町有地に看板の設置許可を行っている。		
	体験農園拠点	体験型の農業拠点整備	令和2年度よりブルーベリー摘み取り体験を支援。		
		グリーン・ツーリズムの展開	ラッキョウの収穫体験と甘酢漬けづくり教室等を実施し、地域の伝統的な味の伝承と教育体験を実施している。		
	イベントの活用	内灘町で開催されるイベントの開催・運営支援	世界の凧が一同に会する「世界の凧の祭典」	令和2、3年度中止(コロナ)	
			内灘町民夏まつり	令和2年度花火のみ。令和3年度中止(コロナ)	
			日本海や河北潟の眺望を活かした「内灘ロマンチックウォーク」(新日本歩く道紀行100選「絶景の道」)	令和元年度よりイベント廃止。	
			ツール・ド・のと400(内灘町発着)	令和2年度中止(コロナ)	
			内灘砂丘フェスティバル	令和2年度、元年度中止(コロナ)	
		新規イベントの検討	大規模なサーフィン大会	民間や任意団体主催のイベントを支援している。今後もイベント誘致に努めていく。	
ビーチスポーツ大会					
海岸でのダンスイベント					
河北潟を活用したイベント(花火・釣り・ボートなど水上スポーツ)					
「恋人の聖地」を活用したイベント			観光協会が恋人の聖地婚活パーティなどを実施している。		
ロマンあふれる歴史や文化を活かしたイベント		町民向けに観光ボランティアガイドと巡る町の遺跡巡りツアー実施。栗崎遊園を題材とした群読イベント実施予定(コロナにより中止)			
内灘町総合公園の設備を活かしたスポーツイベントや家族で楽しめるイベント		ナダスタで各種イベント等をファミリー向けに実施している。			
特産品の開発		ミルク王国ウチナダブランドの推進	町内産牛乳を活用したミルク王国ウチナダ新規認定商品の開発や認定数の拡大を推進します。	令和3年8月時点では、商品数75、登録店27	
	道の駅「内灘サンセットパーク」など町内での販売強化を行います。		内灘のミルクを使ったミルクバターラーメン、アイスクリーム等を販売。メディア等を利用してPRしている。		

基本方針	施策	実績	検証	
	新たな町内特産品の開発	東京のアンテナショップや金沢駅など町外での販路拡大を検討します。	商工会を通して販路拡大への補助金を交付している。今後はWeb上での通信販売についても検討する。	
		河北潟の乳製品・肉製品・無農薬野菜などを活用した新たな特産品の選定・開発を検討します。	特産品開発事業として、町商工会へ、地域の資源を活用した特産品の開発などを目的に補助を行っている	
		地元の食材を活かした菓子類などの開発を検討します。	特産品開発事業として、町商工会へ、地域の資源を活用した特産品の開発などを目的に補助を行っている	
	文化・歴史的な観光資源の活用	歴史民俗資料館「風と砂の館」や文学碑を巡る観光ルートづくり	粟崎遊園や内灘闘争の歴史を体感できる「風と砂の館」や町内に点在する文学碑などを周遊できる観光ルートを設定します。	モデルコースを設定し、観光協会 HP で公開している。
			観光ボランティアガイドの解説により、観光ルートの満足度を向上させます。	観光ボランティアガイドによる観光ガイドを実施している。
			文化・歴史的な観光資源を活かしたイベントを検討します。	粟崎遊園を題材とした群読イベント実施予定(コロナにより中止)
	広域連携の強化	内灘町と近隣市町の観光名所を巡る観光ルートの提案・利用促進	河北周遊ドライブマップの利用促進を図ります。	金沢駅観光案内所等に配置している。
			金沢市や千里浜、河北周辺など近隣市町の観光名所を結ぶルートを検討します。	石川県の観光HP、情報雑誌等に掲載している。
		民間企業とのタイアップ	能登方面に向かう観光バスの内灘町への立ち寄りを促進します。	白帆台ハーフインターチェンジ共用開始により、道の駅内灘サンセットパークを立ち寄り拠点とするルートを交通業者と協議している。
			北陸鉄道浅野川線や路線バスとのタイアップにより、金沢市と内灘町を結ぶイベントを検討します。	北陸鉄道と観光協会による「まち歩きクーポン」の商品化とPRに努めている。
	観光情報の充実	観光情報の充実	内灘観光やイベントを紹介するパンフレットやポスターなどを作成・更新します。	ポスター作成令和元年度、飲食店紹介パンフレット日・英2種令和2年度作成(観光協会)、令和3年度町観光パンフレット作成。
			観光関連ウェブサイト情報を更新していきます。	令和元年度に町観光協会 HP をリニューアルし、Instagram や Facebook 等で情報発信している。県や他市町の観光関連Webサイトにリンクさせ情報発信している。
スマートフォン用の観光サイトを整備し情報を得やすくします。			町観光協会 HP リニューアル(スマホ対応)	
内灘町歴史民俗資料館の情報誌「風と砂の館だより」を継続し、文化・歴史的な観光資源の認知度向上に向けた情報を充実させます。			平成30年度まで作成、令和元年、令和2年度は作成していない。地域おこし協力隊により町の歴史・文化を取り上げ動画を作成・公開している。	
内灘町の魅力やロマンを多くの人に伝えます	観光情報の発信	観光情報の発信強化	インターネットを活用し、内灘観光案内のホームページへのリンクを増やします。	県の観光情報に観光案内のリンクを増設している。
			SNS、動画サイトなどを活用して内灘町の観光情報を発信します。	地域おこし協力隊員によるPR動画の作成、町公式Youtubeチャンネルへの投稿、SNSによる情報発信を行っている。
			ポスターやパンフレットを内灘駅や金沢駅などに展開します。	金沢中央都市圏協力事業として金沢駅地下ふれあい広場に町ポスター掲示(1期間3カ月)している。
			内灘町へのアクセスやコミュニティバスなど町内交通に関する情報の発信を行います。	内灘町のHPに掲載し、パンフレットを作成、内灘駅などに設置し情報発信を行っている。
			内灘情報の発信に内灘町コミュニティバスキャラクター「ウッチー&ナディ」を活用します。	キャラクターの使用や着ぐるみ貸し出しを行い、内灘町の情報発信に活用している。
			民間の旅行サイトに内灘町の観光地の情報を提供・掲載します。	民間観光事業者へ観光情報を提供・掲載している。
			テレビ局などマスコミに内灘観光を取り上げてもらうなど広報活動を強化します。	新聞社やテレビ局などメディアを活用し広報活動を行っている。
			内灘町をドラマや映画、CM のロケ地として活用してもらうなどフィルムコミッション事業を推進します。	平成29年以降、3件の実績あり。(フィルムコミッションWebサイトに掲載)
	インバウンド強化に向けた情報の整備・発信	観光情報の多言語化	インバウンド強化に向けて観光情報の多言語化を進めます。	観光協会 HP 多言語化(英語、中・台)、町公式YoutubeチャンネルへのPR動画英語字幕添付
			外国人観光客の興味・関心を集める観光資源を調査し優先的に多言語化を進めます。	内灘駅から内灘海岸までのルートに多言語ユニバーサルデザイン標識(道路舗装、立体表示)を設置している。

基本方針	施策	実績	検証	
		外国人観光客が利用する旅行サイトへの情報提供を検討します。	日本政府観光局(JNTO)認定観光案内所として登録し、外国人観光客が利用するサイトに内灘町の情報を掲載している。	
	公衆無線LAN整備	観光地での公衆無線LANを整備することで、外国人観光客がリアルタイムで内灘町の魅力をSNSなどで発信していくことが期待されます。	道の駅、観光案内所に公衆無線LANを設置している。	
観光客をあたたくもてなし迎えます	観光客の受け入れ体制の強化	町観光協会との連携を強化します。	平成28年度より事務局を商工会から町へ移管し、活動を支援している。	
		観光関連組織の育成支援を行います。	観光協会とボランティアガイド団体に観光案内所運営を委託し、活動を支援している。	
		次世代の内灘観光を担う人材を育成します。	地域おこし協力隊員の協力で各団体の連携を図っている。観光ボランティアガイドは広報などで新規加入者募集を行っている。	
	観光ボランティアの育成	観光ボランティアの育成	観光ボランティアガイド「風案内はまなすさん」を育成・支援していきます。	ボランティアガイドの研修実施、新規加入者募集の支援をしている。
			内灘町の観光資源について学ぶことができる研修を行います。	ボランティアに対する研修を実施している。
			町民、学生のボランティアで町内や海岸の美化を実施するなど企画やイベントを行い、ボランティア活動の場を広げていきます。	UTAUMI マンスリー(毎月1日早朝海岸清掃)、スポーツ団体、学生団体、マリショップ利用者等による海岸美化運動を支援している。
			外国語での対応が可能なボランティアガイドの育成を行います。	多言語指差しマップ設置、タブレット・翻訳アプリ等を導入、町CIRのボランティア加入
	二次交通の充実	二次交通の充実	内灘駅からの町内交通手段としてコミュニティバスの利便性を高めます。	利用状況などをもとに時刻の見直しを行っている 平成30年度より、通勤通学ライナー・東ルート・西ルートを新設した。
			夏場の内灘駅から海岸へのアクセス性を高めるために臨時バスなどを検討します。	検討中
			町内移動手段としてレンタサイクルの活用について検討します。	内灘町観光案内所にて、レンタサイクルを6台設置している。今後も計画的に増台していく。
	外国人観光客の受け入れ強化	観光情報の多言語化	観光地での表示や案内の多言語化を進めます。	内灘駅から内灘海岸までのルートに多言語ユニバーサルデザイン標識(道路舗装、立体表示)を設置している。
			観光地付近における食事や買物に関するメニューの多言語化の支援を行います。	多言語指差しマップを作成し、町HPへ掲載している。
観光地で外国語対応が可能な人材の育成・支援をします。			町国際交流員の観光ボランティア団体への参加を実施している。町国際交流団体と連携し、観光イベントの共同実施などで人材を育成している。	
観光メニューの検討		マリンスポーツを活かしたスポーツツーリズムや、医療観光など海外からの誘客を強化する観光メニューを検討します。	令和3年度県補助事業などを活用し、新たな観光商品の造成に取り組んでいる。	

(2)内灘町観光アクションプラン策定委員名簿

分野	氏名	備考
学識経験者	岡 達哉	金沢星稜大学 教務部長・経済学部経営学科教授
観光事業関係者	米田 満	元旅行会社
観光事業関係者	竹村 文子	内灘町観光ボランティア会長
商工事業関係者	中居 寿	元広告代理店
商工事業関係者	田中 徹	内灘町商工会事務局長
町職員	松井 賢志	内灘町都市整備部担当部長

(3)委員会での発言キーワード

